

平成25年度富山県のがん対策の主な取組み

I 広 報

1. 県民等へのがん対策の広報

(1) 県広報とやま（8月号）への掲載

特集「総合的ながん対策の推進」

①発効日：8月4日（日）

②発行部数：44万部

③配布方法

ア. 新聞折込

新聞7紙への折込（北日本新聞・富山新聞・読売新聞・朝日新聞・毎日新聞・中日新聞・日本経済新聞）

イ. コンビニへの配布

ローソン・ファミリーマート・サークルK（約350店舗に配布）

ウ. 市町村等関係機関への送付

(2) 県政番組「こんにちは富山県」（北日本放送）での広報

①放送日時：9月7日（土）9：30～9：45

②テーマ：「がん対策の推進」

がん予防と治療法について、医療現場の声を交えて紹介するとともに、来年度からスタートする「認定看護師の養成課程の開設」やこの秋開設した「富山県がん総合相談支援センター」などを始めとする県の取組みを紹介

(3) タウン情報とやま（TJ）（10月号）への掲載

内容は「県広報とやま」と同じ

(4) その他（新聞広告）

北日本新聞社において、8月31日（土）に

①がん予防や早期発見の推進に関する普及啓発

②肝炎検査の普及啓発

についての企画広告掲載

県広報とやま（8月号）
（8月4日（日）発行）



Ⅱ 予防・早期発見

1 たばこ対策強化事業

(1) 街頭キャンペーン

①日時：平成25年5月31日（金） 7:55～8:40

②場所：富山駅舎出入口付近（南口及び北口）

③実施内容

- ・世界禁煙デーPRティッシュの配布
- ・TOYAMA たばこフォーラム2013のチラシ配布

④参加者：19名（協定締結企業・検診機関）



(2) TOYAMA たばこフォーラム

①目的

喫煙は心筋梗塞、脳卒中、末梢血管障害といった心血管疾患の発生率を高めるだけでなく、がんや肺疾患、消化器疾患、歯周病を悪化させる要因でもあるなど、健康に大きな影響を及ぼしている。さらに、非喫煙者にとっても、タバコの煙を吸い込む受動喫煙により、喘息などの慢性呼吸器疾患や乳幼児突然死症候群のリスクとなるなど、大きな影響を及ぼしている。

このようなことから、県民に対し、受動喫煙防止の必要性を伝えるとともに、禁煙や受動喫煙防止を促す際の伝え方について理解を深める機会とする。

②主催

富山県

③日時

平成25年6月6日（木） 14:00～15:30

④場所

富山県総合福祉会館サンシップとやま 福祉ホール

⑤内容

- ・県内市町村（富山市）の取り組み状況報告
- ・基調講演

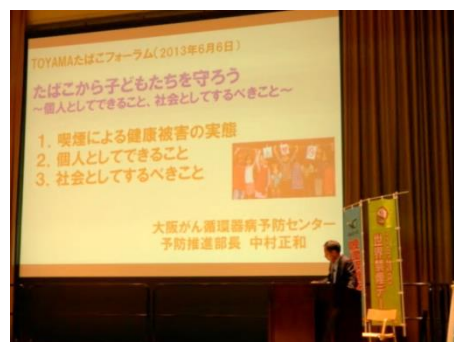
「たばこから子どもたちを守ろう

～個人としてできること、社会としてすべきこと～

講師 大阪がん循環器病予防センター
予防推進部長 中村正和 氏

⑥参加者

一般県民 100名



2 富山がん検診普及啓発キャンペーン2013

(1) 目的

9月のがん征圧月間や10月のピンクリボン月間に合わせ、県内2ヵ所の会場において「富山がん検診普及啓発キャンペーン2013」を実施。

(2) 主催

富山県がん検診普及啓発キャンペーン実行委員会
(県・市町村・健康増進センター・患者会等で構成)

(3) 開催会場

①高岡会場

日時：平成25年9月28日(土) 10:00～15:00

場所：イオンモール高岡(1階 セントラルコート)

②富山会場

日時：平成25年10月20日(日) 10:00～15:00

場所：ファボーレ(1階 太陽の広場)



ピンクリボン
富山県オリジナルマーク

(4) 内容(両会場共通)

- ①街頭キャンペーン(チラシ、ティッシュ等の配布)
- ②乳がん看護認定看護師による乳がんの自己触診レクチャー、ハンドマッサージ
- ③胃、大腸の内視鏡の展示
- ④呼気中一酸化炭素濃度の測定、喫煙者の肺模型の展示
- ⑤各種がんに関するパネル展示
- ⑥がん検診を呼び掛けるマーク入り風船の配布
- ⑦無料肝炎ウイルス検査の実施等



《来場者アンケート結果》

Q1. 今年がん検診を受けたか (n=228)

①受診した 38.6%

②未受診 60.1%

Q2. 今年がん検診を受けていない理由(複数回答) (n=190)

①受ける時間がない 27.0%

②面倒 15.3%

③たまたま受けていない 14.6%

Q3. がん検診について知識が深まったか (n=228)

①深まった 43.0%

②やや深まった 51.3%

③あまり深まらなかった 2.2%

Q4. 今後がん検診を受けようと思ったか (n=228)

①思った 88.2%

②思わない 3.9%

3 富山県歩こう運動推進大会の開催

(1) 目的

歩くことは誰もが気軽に始めることができ、身体に無理な負担がかからない理想的な運動であり、生活習慣病の予防はもとより体力の向上さらにはストレスの解消など様々な効用があるといわれている。このため「歩くこと」を通じた健康づくりの普及啓発及び運動習慣の定着のきっかけづくりを図るため、大会を開催するもの。

(2) 会場

①富山会場

富岩運河環水公園周辺（環水公園～中島閘門～環水公園）
約5kmのコース

②小矢部会場

小矢部市文化スポーツセンター周辺
（小矢部市文化スポーツセンター～若宮古墳公園～倶利伽羅源平の郷埴生口～埴生護国八幡宮）
ア. しっかり健脚コース（約4.5km）
イ. ゆったりコース（約2.5km）

(3) 日時

①富山会場：平成25年7月6日（土）9:00～11:00

②小矢部会場：平成25年9月8日（日）9:00～11:30

(4) 主催

富山県歩こう運動推進委員会（県・市町村・各種団体等で構成）

(5) 参加者

①富山会場：550名

②小矢部会場：350名



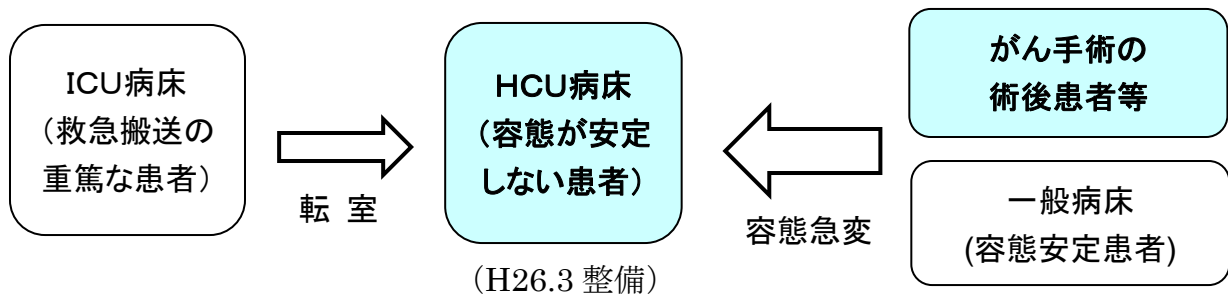
Ⅲ 質の高い医療の提供

○県立中央病院におけるがん医療の充実

(1) がん患者等術後管理体制の充実強化

がん手術をはじめ年間約7千件の手術を行っており、手術後、容態が安定するまで引き続き集中的な治療や看護が必要となる。

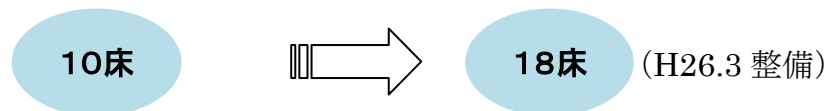
このため、がん患者等の術後患者や容態急変患者に対して、ICUと一般病室の中間に位置する病室、HCUを新設し(12床)、術後管理体制の充実強化を図る。



(2) がん患者用無菌治療室の拡充

無菌治療室(病床数)の拡充整備を行い、化学療法などの治療過程において白血球が少なくなり、免疫力が低下し微生物に抵抗できない状態となる白血病や悪性リンパ腫等の血液がん患者への治療体制の強化を図る。

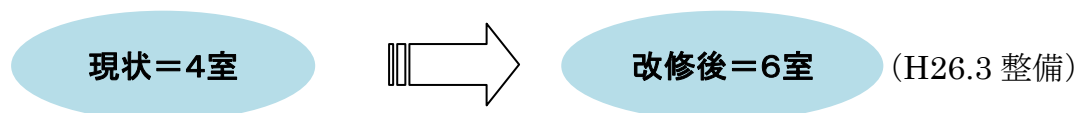
《無菌・準無菌治療室の病床数》



(3) 医療相談センターの設置

医療相談は多岐にわたっており、年々増加傾向である。

このため、現在、別々に配置している相談室の一元管理及び拡充整備を行い、医療相談センターとして機能強化を図る。



医療相談室：2室
受診料・外来トリアージ相談室：1室
がん・肝疾患相談室：1室

2室増室するとともに、
相談窓口カウンターを新設

(4) がん等の高度専門医療対応の新棟建設事業基本計画の策定

ロボット手術などの先進的な手術を行える低侵襲性手術センターや手術後の集中的治療・看護を行う高度治療室、内視鏡による検査・治療を行う内視鏡センター、最先端のMRI・CTセンターなどを有する新棟の建設に向けた基本計画の策定に取り組む。

Ⅳ 患者支援

1. 富山県がん総合相談支援センターの設置

(1) 目的

がん患者及びその家族等からの、医療、心理、生活・介護、就労などの様々な相談に対応するとともに、がんに関する様々な情報を提供する総合相談窓口として「富山県がん総合相談支援センター」を設置。

(2) 事業内容

①各種相談

電話・面談等によるがんに関する医療、患者等の心理や生活・介護及び就労など様々な相談の実施

②情報収集・提供

がんに関する医療、患者等の心理や生活・介護及び就労並びに患者会の活動など様々な情報収集・提供の実施

③患者等の交流支援

- ・患者さんやご家族の交流のサポート
- ・県内の患者会に関する情報提供

④ピアサポーターの養成

患者等による相談及び支援を推進するため、ピアサポーターの養成講座を開催

※ピアサポートとは

がんという病気を体験した人やその家族などがピア（仲間）として体験を共有し、ともに考えることで、がん患者やご家族などを支えること。
ピアサポートを行う人をピアサポーターという。

(3) 開所日

平成25年9月2日（月）

※開所に併せて、別紙のとおり記念事業を実施

(4) 設置場所

富山県総合福祉会館（サンシップとやま）7階

(5) 相談受付時間

月～金（9時～16時）、土（13時～16時）

※日・祝祭日、年末年始は休み

(6) 相談体制

相談員2名（看護師1名、保健師1名）、事務員1名

(7) 運営方法

富山県社会福祉協議会への委託

(8) 相談実績（H25.9～H26.3）

相談者数：585名（面談62.2%、電話37.8%）

《相談者の属性》	ア. 患者 58.5%、家族 30.3%
	イ. 男性 36.4%、女性 63.6%
	ウ. 乳がん 15.8%、肺がん 15.2%、胃がん 11.2%
《主な相談内容》	ア. 医療（34.4%）
	イ. 不安や精神的苦痛(18.3%)
	ウ. ピアサポーターに関すること（10.3%）



富山県がん総合相談支援センターのイメージマーク

富山県がん総合相談支援センターの開所記念事業

1. 開所式

- (1) 時間：午前10時～10時15分
- (2) 場所：サンシップとやま7階（エレベータホール前）

《式の概要》

- ①開式
- ②テープカット
富山県：石井知事
富山県社会福祉協議会：福田会長
患者会代表：あけぼの会富山支部 西田支部長
- ③あいさつ
富山県知事 石井 隆一
- ④閉式



2. 開設記念行事

(1) 開設記念セミナーの開催

- ①時間：14時～15時30分
- ②場所：サンシップとやま6階研修室
- ③内容：＜講師＞ 花井 美紀 氏（NPO 法人ミーネット理事長）
＜演題＞ がん患者によるピア・サポートの意義
- ④参加者：約80名（拠点病院相談員、市町村・厚生センター担当者、患者会など）



(2) 「がんを知る展」の開催

- ①期間：平成25年9月2日（月）～5日（木） 9：00～17：00
- ②場所：サンシップとやま2階（県民サロン）
- ③内容：がんに関する最新データやがん検診の内容等をパネルで紹介



2. ピンクリボン月間（10月）における啓発事業等の実施

《乳がん患者を支える会》

（1）目的

乳がん患者の方々を対象に、治療やがんの体験に基づく講演、交流会を行い、患者や家族が前向きに病気と向き合っていくことを支援するもの

（2）主催

富山県

（3）日時

平成25年10月5日（土）13:00～16:00

（4）場所

県立中央病院

（5）内容

①富山県がん総合相談支援センターの紹介

②講演

（ア）「乳がん治療よもやま話」

講師：富山赤十字病院 外科医師 野崎 善成 氏

（イ）「がんから教えてもらったこと」

講師：フリーアナウンサー 山口 容子 氏

③交流会

（6）参加者

約40名（乳がん患者及びその家族等）



《施設のピンクライトアップ》

（1）インテックビル

タワー111の屋上アンテナ塔及び南側ビル
壁面のピンクライトアップ

《期間》

10月1日（火）～10月3日（木）

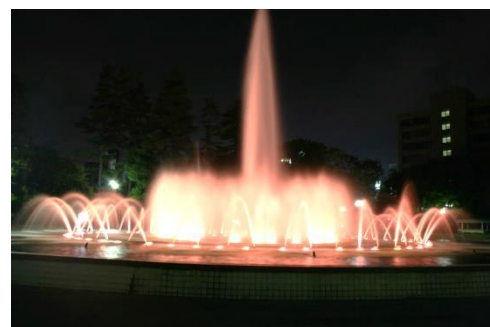


（2）県庁前公園

噴水のピンクライトアップ

《期間》

10月1日（火）～10月31日（木）



3. がんのピアサポーターの養成

(1) 目的

がん患者の不安や悩みを軽減するためには、がんを経験した者による相談が効果的であることから、ピアサポーターの養成講座を開催し、同サポーターを養成するもの

(2) 養成講座期間・内容

①期 間：平成25年11月～平成26年3月のうち6日間

②講義内容

ア. ピアサポーターの意義

イ. がん及びがん治療に関する基礎知識

ウ. がん診療連携拠点病院の見学 等

(3) 対象者

がん患者、がん経験者、がん患者の家族及び遺族等で次の要件を満たす者

①受講課程を全部修了できる方

②相談者の話をよく聴くことができ、守秘義務を守れる方

③受講修了後、仕事や生活に支障がない範囲でピアサポート活動のできる方

(4) 受講者数

30名

(5) 活動内容

がん総合相談支援センターの交流サロンでの活動や拠点病院の患者会への派遣など

4. 治療と仕事の両立支援セミナー

(1) 目的

がん医療の進歩により、治療中又は治療後も多くのがん患者・経験者が社会で活躍している一方で、就労を含めた社会的な問題に直面している方も多い。

このため、企業等におけるがんに関与した従業員の治療と仕事の両立を支援する取組みを促進するため、事業主等を対象にセミナーを開催。

(2) 日時

平成25年11月19日(火) 14:00～16:30

(3) 場所

富山県総合福祉会館(サンシップとやま) 1階 福祉ホール

(4) 参加者

事業主、人事労務担当者及び一般県民など 84名

(5) 内容

①富山県におけるがんの現状と取組みについて

②“就労”はがん治療における強力なサポーター

講師 富山県健康増進センター 所長 能登 啓文 氏

③がんに関与した就業者を取り巻く現状と企業における取組み

講師 特定社会保険労務士、CSRプロジェクト副代表理事 近藤 明美 氏